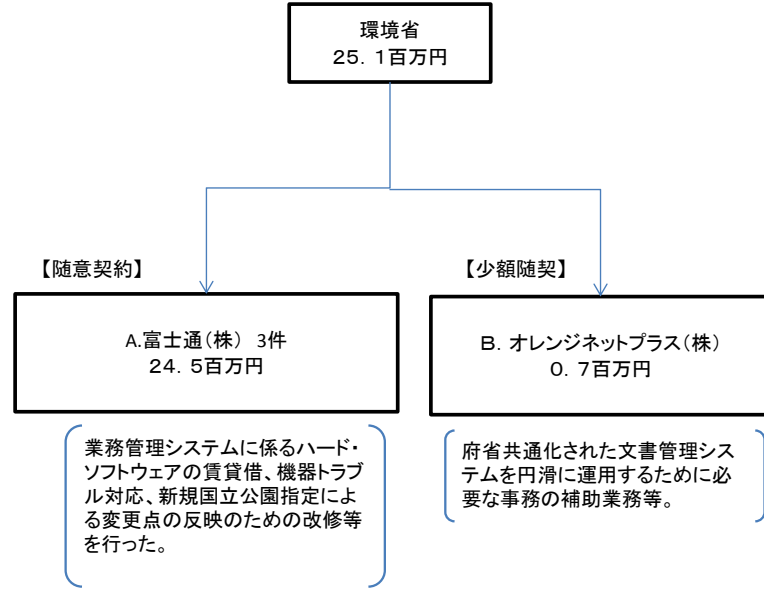


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地方環境事務所電子政府システム維持管理更新費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～		担当課室	国立公園課		課長 鳥居 敏男			
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条、20条、21条等		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> 電子政府構築計画(平成15年7月(平成16年6月改定)) 行政ポータルサイトの整備方針(2004年3月:各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定) e-Japan重点計画-2004(平成16年6月:高度情報ネットワーク社会推進戦略本部) 					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成15年7月(平成16年6月改定)に決定された「電子政府構築計画」に基づき、国立公園業務管理システム(以下「業務管理システム」という)の適切な維持及び必要な更新を実施することにより、申請届出手続のスピードアップ、行政サービス及び業務効率の向上を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年度は、11月に稼働した「環境省申請・届出システム」と連携し、国立公園業務に関する手続の申請情報を取得する機能を追加するとともに、「環境省総合文書管理システム」の廃止に伴い、各種アカウント管理機能の改修を行った。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	5	20	30	14	23		
	執行額	5	15	25					
	執行率(%)	98	74	83					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	本業務は業務管理システムが問題なく稼働することが目標である。 システムの円滑な稼働を目標としていることから、定量的に目標値を定めることはできない。			成果実績	—	—	—	—	
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	年間約4000件の申請を処理			活動実績 (当初見込み)	件	4,000 (3,000)	4,000 (,3000)	4,000 (4,000)	— (4,000)
				算出根拠	—				
単位当たりコスト	活動実績としては、上記のとおりであるが、本システムは、申請届出手続きのスピードアップ、行政サービスの向上を図ることを目的としており、単位当たりのコストを算出することはなじまない。								
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	14	23	次期システム移行に必要なシステム設計に必要な経費の増					
	計	14	23						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立公園内の申請等を処理するものであり、国が実施している。国立公園の管理は自然公園法に基づき環境大臣が行うものであり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	国立公園内の行為許可申請や国立公園事業の認可申請等を効率的に処理するため、過去のデータベースの活用を含め継続的にシステムを運用する必要がある。システムを開発した者に保守・運用等の業務を委託することが、最も効率的かつ安価であり、適正に支出先を選定しているものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	本システムにより国立公園業務が円滑かつ適正に行われているものであり、十分に活用されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	自然公園法に基づき環境大臣が行うべき手続を処理するためのシステムであり、類似事業はない。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検結果	国民等が国に提出する各種申請等に際して効率的な処理を確保するために必要なシステムであり、引き続き機能を維持していく必要があるが、引き続き経費削減に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	173	平成23年	165	平成24年	174

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.富士通(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	システム改修・管理	9.8			
その他	印刷製本費、管理費等	1.5			
消費税		0.6			
計		12	計		0
B.オレンジネットプラス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	派遣業務	0.7			
計		0.7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	平成24年度国立公園業務管理システム機能追加業務	12	随意契約	-
2	富士通(株)	平成23年度から平成27年度までの国立公園業務管理システム一式借上及び運用支援等業務	7	国庫債務負担行為	-
3	富士通(株)	平成24年度国立公園業務管理システム機能改修業務	6	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オレンジネットプラス(株)	平成24年度府省共通化に伴う国立公園業務管理システム管理業務等の補助に関する派遣業務	0.7	少額随意契約	-